

事業名	健やか山梨21推進事業費			調書番号	51
細事業名	健やか山梨21推進会議運営費	財務コード	089210		
担当部課室	福祉保健部 健康増進課 健康企画 担当 (内線)	3505			

事業の概要

実施期間	始期 H 13 年度 ~ 終期 34 年度				
実施主体	県(直営)				
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして			結果、何に結びつけるのか
	県民	健康づくりの取り組みを推進するための協議・実践を行うことにより、生活習慣病の発症予防・重症化予防、社会環境が整備されている			平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
内容	(1) 健やか山梨21推進会議 (年1回) 34関係団体と、健康増進計画「健やか山梨21(第2次)」の目標値の達成状況や本県の健康課題を踏まえ、年度毎の重点目標を協議 (2) 健やか山梨21推進部会 (年2回) 推進会議で決定された重点目標に沿い、効果的な取り組み、連携方法等を協議、実践する。 (3) 県民健康づくり実践状況調査(5年毎 H28実施) 健やか山梨21(第2次)の中間評価のために実施				

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	目標	3回 調査	3回	3回	3回	3回	3回 調査	4回
	実績(見込)	3回 調査	3回	3回	3回	3回	3回 調査	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		2,300	376	300	280	273	2,496	505

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	健やか山梨21(第2次)は、45指標、80数値目標を設定、より実行性を高めるために、アクションプランの提案、作成など、推進会議、部会が連動性を持ち、数値目標達成のための取り組みを展開。
成果指標	b	評価	健康寿命については、平成22年と平成25年を比較すると、男性、女性ともに1.3ポイントを超えて上昇している。目標である「平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸」については、平成29年公表予定の平均寿命により評価することになる。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない		
	説明	健やか山梨21(第2次)は、関係団体の活動により目標が達成されるもの。現状を共有し、効果的な事業等検討する場として会議が有効。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない		
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	本会議は、健やか山梨21(第2次)の推進するための中枢となる会議・部会であり、目標達成のためには必要不可欠である。 また、H29年度には中間評価を予定。目標達成状況を踏まえ、今後本県がすべきことを明確化し、更に実践していくためにも、関係団体の関与は必要であり、中間評価、計画修正を効果的に実施するための中間評価・見直し検討委員会の設置も新たに必要となる。県民健康づくり実践状況調査についても、中間評価の材料として必要。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	推進会議において計画見直し最終案の協議・決定を行うため1回追加し2回開催する。 推進会議2回 部会2回 計4回
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。